

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
相談援助の理論と方法Ⅳ		(社) 必修 (精.発) 選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;相談援助の専門的な知識を獲得し、様々な技術を修得することで、ソーシャルワークを総合的に理解することができることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;本講は、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチなど、ソーシャルワーカーとして実践に携わるうえで求められるさまざまな知識と技術的基盤について同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後フィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	教員が説明するだけの一方通行の講義ではなく、内容に応じて演習やグループワークを取り入れた方法で講義を進めるため、学生の主体的な参加が必要となる。				
教科書	①新・社会福祉士養成講座 8 第 3 版 相談援助の理論と方法Ⅱ/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。 ②社会福祉士 相談援助演習 第 2 版/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	アプローチの違いを理解し、実践で活用できる能力を身につける。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(1)	
②	スーパービジョンの機能を理解し、その必要性を説明できる。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(1)	
③	ケースカンファレンスの方法を学び、実践できる能力を身につける。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(1)	
④	ソーシャルワーカーとしての臨機応変な対応技術を身につける。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(2)、(3)	
⑤	実際の現場でのソーシャルワーカーの実践について、理論・モデルを通して理解する。			HSU(1)、(2)、(3)、WP(2)、(3)	
⑥				HSU(1)、(2)、(3)、WP(1)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション・講義の進め方・評価方法等の説明を行う。	同時双方向型授業	シラバスを読んで全体像を把握してくる	4	
2	心理社会アプローチ・機能的アプローチ①について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
3	心理社会アプローチ・機能的アプローチ②について事例を通じて学習を深める。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
4	問題解決アプローチ・課題中心アプローチ①について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
5	問題解決アプローチ・課題中心アプローチ②について事例を通じて学習を深める。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
6	危機介入アプローチ・行動変容アプローチ①について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
7	危機介入アプローチ・行動変容アプローチ②について事例を通じて学習を深める。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
8	エンパワメントアプローチ・ナラティブアプローチ①について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
9	エンパワメントアプローチ・ナラティブアプローチ②について事例を通じて学習を深める。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
10	認知アプローチ・解決志向アプローチについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
11	スーパービジョンとコンサルテーションについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
12	ケースカンファレンスの技術について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
13	相談援助における個人情報の保護、情報通信技術について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
14	事例研究・事例分析・相談援助の実際について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

15	後期講義のまとめと試験対策	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照する。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験 70	レポート 0	成果発表 0	ポートフォリオ 0	その他 30	合計 100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑤について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。出題方法として、○×式、並びに記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～⑤に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。	試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらおう Teams へ授業毎に授業で理解できたこと等のリアクションフォームを提出してもらい評価する。	前回のリアクションフォームを参考に振り返りを実施する。			
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	梅沢佳裕：ソーシャルワーカーとして7年の実務経験。						
実践的授業の内容	授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	*Teams を使用した同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。 *今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がありえます。						